

P-LAP USB ケーブルを Windows7 64 ビットでお使いのお客様へ

WINDOWS 7 64ビット版上でP-LAP USB ケーブルを使用する際、ドライバのインストール過程で、「このデバイスに必要なドライバーのデジタル署名を検証できません」などのメッセージが出て、ドライバのインストールができないことがあります。が、WINDOWS 7をテストモードにすることによってドライバをインストールすることができ、正常に動作します。

しかしテストモードにすることによって、使用できない周辺機器があることや、画面隅に「テストモード」という文字が表示されるという問題がありますが、それ以外の不具合はありませんの、割り切って使用するようして下さい。

テストモードから通常モードに戻すと周辺機器は使用できるようになりますが、P-LAP USBケーブルは使用できなくなります。テストモードで普通に使用することはできますが、上記のような不具合があることをご理解下さい。テストモードにする方法を下記に示します。

1. メニューから「コマンドプロンプト」を右クリックして、「管理者権限で実行」をクリックする。
2. `Bcdedit -set TESTSIGNING ON` とタイプして実行する。
3. WINDOWS 7を再起動する。

これでテストモードになりますので、この状態でP-LAP USBケーブルのドライバをインストールして使用することができます。2. で `Bcdedit -set TESTSIGNING OFF` とタイプして実行して再起動すると通常モードに戻ります。

テストモードにしないで使用する場合は、RS232Cの通信ケーブルに市販のUSBシリアルアダプタ (WINDOWS 7 64ビット版に対応しているもの) を接続することによって通信することができます。